

令和3年度学校関係者評価

令和4年3月22日(火)に学校関係者評価委員会委員を招聘し、学校関係者評価委員会を開催した。本校の学校関係者評価委員は、県看護協会代表・実習施設代表・保護者代表・卒業生代表らに委嘱している。

1. 方法

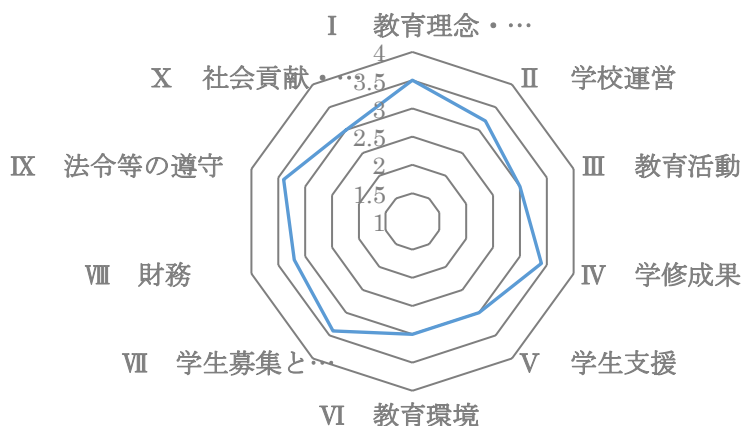
学校側が評価した自己点検・自己評価結果について、是非を問うと共に、課題と考えられる項目について意見及び質疑を交わした。

2. 結果

大項目基準I～Xの評価は、満点4点中平均3.21であり概ね良好の評価であった。なかでも教育理念・教育目標の周知、看護基礎教育の4年制化について医師会との共有、専任教員のキャリアアップ、卒業生の支援体制のしくみづくりが課題となる。

学校関係者評価委員会評価

レーダーチャート



I 教育理念・目的・育成人材像 評価 3.5

・学生アンケートにおいて「学校の理念を知っている、教育目標を知っている。」という項目で、「そう思う」と回答している学生が低値となっている。来校する機会が減少した学生に対し、学習内容と深いかかわりのある教育理念・教育目標に触れる機会をどのように伝えていくかが課題である。

・地域包括ケアシステムが推進される中で、実習施設からの「多職種と協働する力、地域・家族の視点が充分でない」という評価が気になった。カリキュラム改正では、1年次から強化する教育内容と位置付けられていることから、今後に期待したい。

II 学校運営 評価 3.2

魅力ある学校づくりについては、設置主体との話し合いは不可欠である。将来構想も含めぜひ検討する場を設けてほしい。看護基礎教育の4年制化についても話し合ってほしい。現状の意見を確認したい。

III 教育活動 評価 3.0

専任教員養成講習会への研修派遣が計画されており、より質の高い看護教育に繋がることを評価したい。研修中の自己研鑽を重ね、自信も持って教壇に立ってほしい。

IV 学修成果 評価 3.4

コロナ禍における看護師の活動は、日々マスメディアを通して伝えられている。その中には、職場でのあらゆる制限により、「仕事上の不安やストレスを発散する場さえ失っている」という訴えが聞かれる。特に、新人看護職員には、仕事上の相談役が必要な時期であるということから、職場や家庭、学校などが支援体制を強化する必要があると感じた。

V 学生支援 評価 3.0

卒業生の支援については、Web 等を活用した支援体制を強化し、先生方に近況を報告することで、不安の軽減やストレスの解消に繋がられるので、是非企画して頂きたい。

VI 教育環境 評価 3.0

- ・オンライン授業により、学生が負担に感じている講義資料については、学校側が印刷して学生に手渡しているということであるが、全生徒に周知されているか気になるところである。学生からは、資料等の準備が負担になっているという声がある。
- ・オンライン授業が主体となっている年度について、施設使用料が通常年度と変わらないことに対するその必要性や合理性等について十分な説明を行ったり、代替措置を講じたりするなど、学生に寄り添い、学生が納得できるような対応をお願いしたい。
- ・貴校の BCP 作成に取り組んでいただきたい。

VII 学生募集と受け入れ 評価 3.4

18 歳人口が減少していく中で、学生募集については大きな課題である。コロナの影響により、高等学校等への訪問は計画的に進められていないことは承知しているが、設置主体も含め対応策について議論を進めてほしい。

VIII 財務 評価 3.2

実習施設等から求められることを想定して、PCR 検討の財源確保を引き続きお願いしたい。できるだけ学生の負担にならないような方策を検討していただきたい。

IX 法令等の遵守 評価 3.4

- ・専任教員の研修派遣により、指定規則違反がクリアできることが確認できた。
- ・専任教員のキャリア支援体制について、考え方を明記する必要がある。

X 社会貢献・地域貢献 評価 3.0

2021 年 4 月 23 日から沖縄県独自の緊急事態宣言等も発令され、10 月 31 日まで延長された。その間、学校及び施設等では、計画されているイベントやその他の行事を中止せざるを得ないなど影響を受け続けたと考える。その状況から、学校評価の項目である「社会貢献や地域貢献」については、さまざまな制限等から考えると評価をすることが困難である。